

My Trip to Ise Jingu

Earlier this year, I went to Ise Jingu. Here are my reflections on that trip.

Outward journey: It was the very middle of winter. I set out from Kobe at 5:30 in the morning. The sky was grey with a constant rain. I took a number of trains but for the majority of the journey I rode a private cabin on a double-decker train, flying along, a private capsule isolating a speeding dreamer. The landscape felt different. There was very little of the uniform urban sprawl, dull yellow grasses, and tired modernity I was used to from the window of a train. There were old-style buildings, verdant greenery and somehow a sense of the past. I saw the traditional architecture, the white walled enclosures, tiled with splendid dark tiling. I felt at ease, as if this was the real Japan.



Photo by (c)Tomo.Yun
(<http://www.yunphoto.net>)

and women in kimono, walking through the dripping, pitter-pattering trees. You can't enter the shrine, only look in from a small area outside. There were guards and rope boundaries. The large stones of the floor inside the shrine gleamed wet. There was no money collection box, you're not supposed to offer coins, but people did anyway, and so there was a large white cotton sheet set to collect these coins. After a minute or so I moved on, conscious of people waiting to enter.

Naikū – The inner shrine

On the bus ride to the Naikū the wind increased. There were more people at the Naikū. Still far fewer people than I had expected. Often, I was alone walking across the wider garden-like areas and along the wooded paths. Strange-shaped branches and a squalling wind seemed to call me towards the inner shrine. This was not a normal shrine. There was a weight in the air. People were gathered at the bottom of the wide set of large stone steps leading up to shrine entrance. We lined up, shuffling to see just a glimpse of the shrine roofs. As I looked at the shrine, the muffled voices of people behind me muted. It was the border of the mystical, the place where the world of the gods and our world met.



Return Journey: As I left the gate of the inner shrine, the wind dropped and the sun finally broke through the clouds. In the bright light, I looked up to the surrounding thickly wooded hills, which were now steaming with mist. Another moment of real Japan. On the path, it might have been my imagination but I saw a small wisp of vapour move past me in a strange way. This trip was a truly unique experience for me. I think I would like to visit other ancient shrines in the future, maybe Nishina Shinmei Shrine or Izumo Shrine.

今年のはじめに伊勢神宮に行ってきました。その旅についての私の感想を述べます。

行き: ちょうど真冬のことでした。午前5時半に神戸を出発しました。空は絶え間ない雨で灰色でした。いくつかの列車にりましたが、旅の大半は2階建て列車の個室に乗っていました。線路に沿って高速で走行し、夢見心地な気分だった。景色が違って感じられました。電車の窓から見慣れていた、均一な都市の広がり、くすんだ黄色の草、そして疲れた現代性はほとんどありませんでした。古い型の建物、緑豊かな自然、そしてどこか過去の雰囲気がありました。白壁と見事な黒瓦の囲いといった伝統的な日本建築を目にしました。

まるでここが本当の日本であるかのように、安心しました。

外宮: 伊勢市駅から外宮に向かって歩きました。歩行者通りには騒々しい観光客や外国人はおらず、ただ激しく降り注ぐ雨だけが聞こえました。外宮に近づく、そこには人がいました。スーツを着た真面目そうな男性や着物を着た女性たちは、雨が滴りパタパタと音を立てる木々の間を歩いていた。

神社内に入ることはできず、外の小さな場所から中を覗くことしかできません。そこには警備員がいて、縄で囲まれた境界があり、内陣の大きな石は濡れて光っていました。賽銭箱はなく、小銭を捧げてはいけないことになっているのですが、それでも人々はするので、集めるための大きな白い綿のシーツが用意されていました。数分ほど経って、入場を待っている人がいることに気づきながら、私は先に進みました。

内宮: バスに乗っている間、風が強くなっていました。内宮にはもっと人がいましたが、それでも予想していたよりはるかに少なかったです。ほとんど一人で、その広い庭園と森の小道を歩き渡りました。奇妙な形の枝と強い風が、私を内宮へと呼んでいるようでした。ここは普通の神社ではありませんでした。空気に重みを感じました。神社の入り口に続く広い大きな石段の下に人々が集まっていた。神社の屋根を一目見るために、少しずつ歩きながら列に並びました。後ろの人たちのくぐもった声は消えた。神秘との境界であり、神々の世界と我々の世界が出会う場所でした。

帰り: 内宮の門を出たとたん、風が弱まり、ようやく雲間から太陽が顔を出しました。明るい光の中で、私は周囲の木々が生い茂る丘を見上げました。丘は霧で湯気を立てていました。本当の日本のもう一つの瞬間。

道の途中で、私の想像だったかもしれないが、小さな蒸気の糸が奇妙な形で私の横を通り過ぎるのが見えた。この旅は私にとって本当に独特な体験でした。将来は仁科神明宮や出雲大社など、他の古代の神社にも訪れてみたいと思っています。

定額減税しきれないと見込まれる方への
給付金（調整給付金）支給のお知らせ

デフレ完全脱却のための総合経済対策における物価高への支援の一環として、所得税・個人住民税の定額減税を実施しております。個人住民税の対象となる方には減税後の税額で税額決定納税通知書を送付しています

が、その際、定額減税しきれないと見込まれる方に対しては通知書に「減税不足額●●円」と記載されており、その額を1万円単位で切り上げた額が調整給付金として支給となります。

て期限までにご返信ください。後日審査結果を送付します。給付金は確認書に記入していただいた口座に順次振り込みになります。

問い合わせ先

調整給付金の窓口としてコールセンターを開設します。

・税務課住民税係 (32) 3126

・調整給付金コールセンター
御代田町役場2階会議室1

受付期限
10月31日まで

(8月26日から開設)
(32) 3126

定額減税可能額	
個人住民税 所得割分	1万円×減税対象人数
所得税分	3万円×減税対象人数
減税対象人数：納税者本人 + 同一生計配偶者 + 扶養親族数 (所得税・個人住民税において扶養親族等として申告されている方で、前年12月31日の現況により判定)	

支給対象者
・個人住民税の定額減税可能額が令和6年度分個人住民税所得割額を上回る者
・所得税の定額減税可能額が令和6年度の推計所得税額を上回る者

調整給付額
個人住民税分控除不足額と所得税分控除不足額の合計を1万円単位で切り上げた額。世帯構成や各種控除など、個人ごとにより計算方法が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

支給手続き等
8月下旬に、調整給付金の対象になる方には通知を送ります。確認書に必要事項を記入し、本人確認書類等を添え

〈例1〉

- ・単身世帯で給与収入が600万円
- ・住民税額が25万円 ⇒1万円×1人(1万円の定額減税)
- ・源泉徴収が25万円 ⇒3万円×1人(年末調整で定額減税)

定額減税額を引きさけるので、調整給付金の対象外。

〈例2〉

- ・単身世帯で給与収入が120万円
- ・住民税額 4千円 ⇒10,000円－4,000円＝6,000円
- ・源泉徴収 4千円 ⇒30,000円－4,000円＝26,000円
6,000円＋26,000円＝32,000円

千円単位を切上げて4万円の調整給付金の対象。

〈例3〉※控除対象配偶者の場合

- ・4人世帯(本人・配偶者・子ども2人) 給与収入600万円
- ・住民税額 25万円 ⇒1万円×4人(4万円の定額減税)
- ・源泉徴収 25万円 ⇒3万円×4人(年末調整で12万円の定額減税)

定額減税額を引きさけるので、調整給付金の対象外。

(注)税額は例示であり、実際の金額とは異なります。

定額減税や給付金をかたった「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」にご注意ください!

国や都道府県、市区町村の職員などをかたり銀行の口座番号や暗証番号を聞き出すような事案が確認されています。

電話やメールで暗証番号を尋ねたり、ATMの操作をお願いすることはいっさいありませんので、不審な電話やメールがあった場合は、警察署または警察相談専門電話(＃9110)にご連絡ください。